



▲親子で水あそび

かごしま

あいら

市議会だより

No.28

6月定例会

平成29年8月31日発行

報告

議会と語る会

22

報告

特別委員会設置

21

委員会

視察 所管事務調査
議論・白熱

6

補正

補正額3億9355万円
スマートIC整備関連

2

補正

地域活性化に3億9355万円



▲泳いだ後のスイカって最高！（重富海水浴場海開き）

●6月定例会

【会期】

6月14日～7月6日

23日間

【議案】

議案……………8件

請願・陳情……………3件

発議……………2件



全ての議案と採決結果は、
始良市ホームページをご覧ください。

その他

- 請願2件・陳情1件を採択しました。
(詳細は、5ページ)
- 委員会の審査経過等を報告します。
(詳細は、6～9ページ)
- 「議会と語る会」を開催しました。
(詳細は、22・23ページ)

条例

- 大規模集客施設立地が制限されます。
(詳細は、4ページ)

補 正

- スマートIC整備関連事業が進みます。
- 北山地区の活性化を推進します。
(詳細は、3ページ)
- なぎさのハイカラ夜市（9月17・18日）が開催されます。
(詳細は、6ページ)
- 家庭教育支援が拡充されます。
(詳細は、7ページ)

スマートIC整備関連

1億9933万円

桜島SAスマートインターチェンジ整備で、国から追加予算内示があったことに伴う鍋倉・触田線が延長250mとサービスエリア線150mの市道新設改良工事請負費と同工事区域のガス管等の移転補償費などです。

質疑 移転補償費7300万円の内容を具体的に示せ

答弁 日本ガスのガス管、NTTの地下ケーブル、加治木ガスの配管、九電・NTTの電柱、ソフトバンクの基地局です。



▲スマートICの早期整備を！

道路維持補修の拡充

2000万円

市民からの要望が多く寄せられている道路舗装補修や、路肩・法面・側溝等の道路構造物の維持補修を行う予定です。

質疑 要望に対する進捗状況を示せ。

答弁 今回計上の29路線は要望のあったところの分です。

今後5年をめぐりに、整備を図ります。

通行の更なる安全確保と安心して暮らせる道路管理の推進を図るものです。



▲道路舗装補修を推進します

北山地区に定住促進住宅4戸

7344万円（債務負担行為）

北山小学校の存続と地域活性化を目的として、旧成美小学校跡地に小学生のいる子育て世帯を対象とした木造一戸建ての借上型定住促進住宅4戸を建設するための債務負担行為です。

契約期間平成30年度から平成47年度までの18年間です。

【債務負担行為とは】

支払いが将来的に発生する見込みではあるけれど、今年度中には支払う予定がないという場合に便宜的に使われる予算の項目です。

債務負担行為が予算に計上されていれば、数年間にわたって歳入と歳出のバランスを考えるのに役に立ちます。



▲定住促進住宅建設予定地

条例

市税の見直し

軽自動車税のグリーン化特例が、平成31年3月31日まで2年間延長されました。

また、軽自動車の環境負荷低減のため、環境性能に応じた税率決定が平成31年10月1日に延期されました。

育事業等の課税標準軽減を自治体が条例で決定できるようになったことなどの改正です。

可決
賛成23名
反対0名



▲税率決定延期の軽自動車

国民健康保険税の見直し

税制改正に伴い、低所得世帯に対する軽減措置が拡充されます。軽減措置は世帯主、加入者の前年所得の合計額が一定額以下の世帯に対して均等割額及び、平等割額が軽減されます。

なるか。
答弁 2割軽減から5割軽減になる世帯が41世帯72人、軽減なしから2割軽減になる世帯が76世帯120人となります。

可決
賛成21名
反対2名

対象世帯が拡充され、5割軽減世帯27万円（5千円引き上げ）2割軽減世帯49万円（1万円引き上げ）になります。
質疑 対象者はどのような

大規模集客施設の制限



▲平松（警察学校近く）の特別用途地区（予定）

本市の都市機能をコンパクトに集積するため、市街地周辺部の準工業地域（用途地域）の一部に大規模な集客施設の立地を制限する特別用途地区（13か所）を指定します。指定地区には劇場、映画館、遊技場等の床面積が1万㎡を超えるものは建築できません。

議会の審査では、コンパクトシティ構想実現に向け、乱開発されることなく調和のとれたまちづくりを進めるためには、本条例は必要との意見がありました。

可決
賛成23名
反対0名

その他の条例

○地方税の特例措置を、地方が自主的判斷施行できるようにするための条例改正
○市行政組織の統廃合に伴う事務手続きの条例改正

請願2件 陳情1件

採 択



▲整備が望まれる広場

「ふれあい交流拠点」都市公園整備の実現に関する請願書

採 択

請 願 者 迫田 正則
紹介議員 東馬場 弘

請願の趣旨

岩原西市営住宅は、子どもの遊び場、高齢者のふれあいの場としての機能、健康増進やレクリエーション活動、また、災害発生時の緊急避難場所と

して、広場が必要と6自治会で決議しました。地域住民が気軽に利用できる多目的広場（都市公園）の早急な整備を請願します。

委員会審査

「各地で地震が発生し、地震対策等の環境が変わってきた。地域の安全で安心な避難環境整備が重要である」などの意見がありました。

採決結果

全会一致で採択しました。

請願の趣旨

子どもたちの豊かな学びを実現するためには、教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが不可欠です。

学校現場では教職員の長時間労働は正が必要で

教職員の定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元、複式学級解消をはかるための、2018年度政府予算に係る意見書採択の要請

採 択

請 願 者 上村 豊茂
紹介議員 堀 広子



▲部活に励む先生と生徒

あり、そのための定数改善が欠かせません。

また、教育の機会均等の観点から、複式学級の解消は重要な課題です。義務教育費の国庫負担率が2分の1から3分の1に引き下げられ、地方財政を圧迫しています。国の関係機関への意見書提出を請願します。

賛成討論 神村 次郎

採決結果

賛成22反対1で採択され、意見書を提出しました。

中部横断道路（仮称）建設促進協議会設立に関する陳情書

採 択

陳 情 者 川原 竜平

陳情の趣旨

国道10号線みろく交差点、霧島市隼人町小浜の交差点などは車両の集中により渋滞しています。地域経済浮揚、交通事故防止のため、始良市山田から隼人町小浜までの早期の道路建設促進が必要です。関係団体と一丸となって取り組むために「建設促進協議会」設立に賛同を願ひ陳情します。

①道路の建設促進協議会の設立
②促進協議会設立に伴う国・県への要望と陳情
③国道10号のバイパスとしての位置づけ

採決結果

全会一致で採択しました。

総務常任委員会

財政、人事、企画から
商工観光、危機管理まで
幅広く市政をチェック！

委員会レポート

議論

「なぎさのハイカラ夜市」は、
本当に地域活性化に繋がるのか

白熱

今回の補正予算審査で、特に議論が白熱したのは「なぎさのハイカラ夜市」事業でした。委託料460万円のこの補正予算は、明治維新150年の取組、重富駅周辺の活性化、地元出身の村橋久成氏を顕彰、人材育成を目的としています。具体的には、屋台村的な交流イベントにより2日間で3万人の動員を見込むものです。



目的はいくつか示されているが、結果として「なぎさのハイカラ夜市」は地域活性化に繋がるのか」という1点を論点Ⅱテーマに議論しました。

○地元を入れた継続性のあるイベントになっているか、活性化になるか

○テーマはいいが、人材育成が定かでないのではないか

○イベントまでの期間が短く、集客や継続性に無理があるのではないのか

○県の補助事業（1/2）であり単年度事業ではあるが、次回に繋がるならばいいのではないのか

まとめ

開催までの期間が短く、集客や協力体制等に課題もあるが、継続的な地域活性化に繋がるよう、迅速に対応すべきです。

視察 栃木県／下野市 新庁舎建設

下野市は平成18年1月に特例法の下で誕生した人口6万人の市である。新庁舎建設は合併特例債を視野に入れ計画、平成28年2月に完成した。完成までのスケジュールは、庁舎内の検討を経て、外部委員を含めた「本庁舎建設検討委員会」を設置、委員会を11回開催し、基本構想を答申した。

議会承認後、基本計画を策定、公募型プロポーザル方式で設計者を決定した。計画に当たり4つのコンセプトを掲げた。

- ①利用の多い市民課や福祉関係を一階に配置
- ②免震装置、非常用電源を装備



▲市民の交流の場になっているロビー

③市民ロビー等交流の場を設ける

④太陽光発電、地中熱利用空調、熱反射ガラスなどにより環境にやさしい庁舎

これらのコンセプトをしっかりとクリアすることにより「市民のよりどころ」としての庁舎を実現した。

まとめ

全体的に明るく、親しみのある庁舎で、免震構造や環境にやさしい取組みは参考になりました。

視察 埼玉県／日高市 デマンド交通

デマンド交通は、路線バスとタクシーの中間的な、地域の実情に合った交通機関の事で、近年全国的に導入する市町村が増えている。

日高市の場合、住民の要望により「日高市地域自主運行事業補助金交付要項」を制定した。自治会が運営し初期投資のみで上限は300万円

円、経費は自治会の負担、利用者は自治会員でデマンド交通会員に登録すること等が決まりで、利用料は無料である。

今現在は1自治会の取組であるが、他の自治会が今年10月開始予定で市と協議中で、今後増える」と予測している。



▲7人乗りの車を導入

まとめ

高齢化社会に入り、免許返上等により自家用車による交通が減少、今後地域交通は大きな課題である。

日高市の場合、初期投資300万円の補助は大きな負担ではあるが、解決策の一つであり、おおいに参考になりたい。

文教厚生 常任委員会

子どもからお年寄りまで
健康で文化的な暮らしを
市政に求めます！

委員会
レポート



議論

家庭教育推進事業を意義あるもの
にするにはどうすればよいか

白熱

今回の補正予算審査では、特に社会教育推進事業に係る経費85万円についての議論が白熱しました。

これは家庭教育を一層推進するための予算で、県のモデル事業になります。

委員会では「市全体で家庭教育の推進を図るための家庭教育推進事業を意義あるものにするためには」を論点として、大きく2つの方向から議論を深めました。

①子育て基本条例の観点
条例制定より4年経過し、見えてきた成果や課題があるか。

家庭、学校、地域、事業者、市それぞれの役割と責任を果たしているか。条例が市民に浸透していない実態がある。

市民が条例の理念に触れる機会を増やし、子育て手帳の具体的な活用方法を見出し、条例制定以降の検証が必要ではないか。



②家庭教育学級の観点
実施内容は、把握されているか。

家庭教育学級の内容の充実と、参加者について検討すると、取組みや参加状況が様々という実態がある。

本来の目的の周知に努め、参考事例などの情報の共有を図り、内容の充実と参加者の拡大に努めるべきである。

まとめ

本市の家庭教育の課題を明らかにし、子育て基本条例の理念を基に事業が進むことを期待します。

各部課を超えた連携も強化し、具体的な成果を表せるような取り組みを要望します。

視察 栃木県／小山市

小山市は、市内の貧困家庭の実態を報道されたことをきっかけに、子どもの貧困対策を重点課題と位置づけ、「子ども貧困・虐待防止対策本部」を設置。

県内に先駆け各種事業を策定、実施。

早期発見 スクールソーシャルワーカーの巡回相談など相談体制と関係機関の連携

生活支援の充実 居場所を提供し、基本的な生活習慣の習得

教育支援 中学生の学習習慣と基礎学力をつける

学習支援

保護者の就労支援 資格取得促進とハローワークとの連携

経済的支援 ひとり親家庭の学童保育料の減額

経済的支援

ひとり親家庭の学童保育料の減額



▲キッズランドおやま

支援体制の整備・充実

「子ども貧困撲滅支援センター」を5地域に設置。

これらの結果、要保護・準用保護世帯率が、4・5%に減少（本市14・1%）

視察 栃木県／足利市

認知症対策

足利市は、国の新オレンジプランに基づき状態に応じた医療・介護の提供と介護者への支援認知症初期集中支援チームを発足。

背景 ①症状が悪化してから受診する例が多い。

②現場での継続的なアセスメントが不十分で、適切なケアが提供できていないことがあった。

効果 医師の介入で受診に繋がりがやすい。家族の介護負担の軽減。近隣宅の不安解消。

介護負担の軽減。近隣宅の不安解消。



▲認知症カフェのキャラクター

留意点 本人と家族への配慮。目的と役割を伝える。

今後の課題

早期発見・治療に向け、理解者を増やすことや、ケアパスの周知を図る。

相談の多くは金銭をはじめ様々な問題を抱えており、次回介入への引き継ぎのタイミングを図る。

まとめ

貧困を可視化することで効果を生み出した小山市。サポーター養成講座などで地域の理解者を増やすことで効果を生み出している足利市。

人間関係の希薄化や地域力の低下が懸念される本市、今後これらの知恵を市政に反映していきます。

産業建設 常任委員会

農林水産業から道路、
住宅まで、ハードもソフト
もまちづくりします

委員会
レポート



議論

北山住宅の位置付け入居条件、
戸数の根拠が不明

白熱

今回の補正予算総額の
内約90%が産業建設班に
付託されました。

このため、審査には時
間も要しました。中でも
特に時間も要し、議論白
熱したのが「北山住宅」

(北山地区借上型定住促
進住宅)でした。

この債務負担は、北山
小学校を維持することで、
地域の活力を増し、持続
可能な地域運営をするた
めに、子育て世代を呼び
込む住宅建設をしようと
するものです。

質疑の後、「北山住宅
の位置付け、入居条件、
戸数の根拠が不明であ
る」ということを論点に
議員間討議が行われまし
た。

主な討議内容

○学校存続を第一義とす
るような政策的案件に
も関わらず、補正で上
程されたことの説明が
不足していた。

○卒業時の対応が未整備
で、早急に検討・決定
すべきである。



▲存続が求められる北山小学校

○中山間地域に定住して
もらうための住環境整
備という観点からすれ
ば、1戸では寂しく、
10戸では埋めるのが困
難。4戸は実現可能性
と期待が交差する戸数
である。

まとめ

学校の存続、中山間
地域の活性化のために
定住促進住宅を活用す
ることは理解できるが、
入居者探しや入居後の
地元地域の協力・支援
は欠かすことができず、
「地域コミュニティと
の連携を強く求める」
ことを要望することで
予算案を認める方向で
合意が形成されました。

視察 岩手県／紫波町 フットボールセンター



▲ナイター設備も充実している
岩手県フットボールセンター

平成23年に供用開始さ
れ、設立時の事業費は日
本サッカー協会助成金7
500万円、町補助金6
000万円。

管理は岩手県サッカー
協会が行い、平日は9時
〜21時、休日は8時〜21
時まで利用され、協会事
務局員とパート職員の2
名が常駐しています。

全面使用は2か月前、
半面・1/4使用は1か
月前にインターネット、
電話での予約が可能です。
サッカー以外の利用状
況は、高校ラグビー、紫
波まつり、サッカーやド
ローン等の講習会も開催

されています。

利用実績は平成28年度
の収入が732万円、利
用者数はおよそ3万60
00人、観客はおおよそ7
000人にのびります。

まとめ

本市も総合運動公園
に県フットボールセン
ターを設置する予定で
す。県央の良さを活か
し、市内外から多くの
方が訪れる施設の完成
が待たれる一方、多く
の市民に多様な活用が
されるよう配慮を求め
ています。

視察 岩手県／花巻市 立地適正化計画

花巻市は近年、高校2
校、警察署、県立病院、
大規模事業所などが中心
部から郊外へ移転。中心
部の都市機能の低下と賑
わい消失で市民の不安が
大きくなっていました。
このため花巻市では、
中心部Ⅱ「まちなか」を
再構築するコンパクトシ
ティ構想を立ち上げ、そ
れを具現化するために、

立地適正化計画を策定し
ました。

この計画の基軸となっ
たのは「まちなか」への
総合病院の移転誘致で、
これを中心にして、他の
都市機能を最適な立地で
再配置すべく検討を進め
てきました。

一方、再構築した「ま
ちなか」が自立していけ
るよう、リノベーション
まちづくり事業を推進し、
「まちなか」に住まう市
民の活力を最大化する後
方支援を行っています。



▲リノベーションまちづくりの
「まちなか」カフェ

まとめ

担当職員がまちづく
りのプロを自負するほ
ど、まちづくりに強い
信念が溢れていました。
今後のまちの活性化
にはプロの職員と市民
の中に仕掛け人の育成
が急務と思われました。

議会運営委員会

議会改革の先進地視察を報告します

委員会レポート



▲折りたたみヘルメット

視察

滋賀県／大津市
議会BCP・ミッシヨンロードマップ

研修

議会BCP (Business Continuity Plan) とは、大規模地震などの非常時に行うべき議会や議員の役割、行動指針などを定めた業務継続計画を示します。

大津市は平成26年に地方議会として初めて策定した先進地です。

制定のきっかけは、東日本大震災、大津市の豪雨災害を受け、議会が機能しないという課題が明確になったことでした。

大津市ではBCPを理

念的なルールにしないよう、議会で防災時訓練を実施しています。その中で発見した課題を解決すべく、議場に防災グッズ（ヘルメットなど）を備えるなどもしています。

ミッシヨンロードマップとは、任期中4年間の議会活動の実行目標やその工程を全議員で任期当初に設定、共有するものです。

この議会版実行計画は、毎年達成度や課題を確認することで、議会の実行

力を「見える化」しています。

議員、議会が「いつまでに、何をするのか」を明確化したことで、各会派からの提案も活発になり、議会全体としても活性化しています。

また、計画を具現化する場として政策検討会議があり、各会派が競い合って計画の具現化に努めています。

まとめ

議会基本条例を制定してから議会改革を推進する市が多い中、大津市は遅れて制定しています。

それは既に改革が進んでいるためであり、改革を推進するための基本条例は必要なかったためです。本市も遅れをとらないよう頑張ります。



▲職場の防災用具

視察

兵庫県／丹波市
会派の設立と運用・議会改革

研修

丹波市は6町が対等合併して生まれた市で、旧町時代はどこも会派を有していなかったという点において、本市と類似団体と言えます。

会派の設立は、新市が誕生してすぐに議会事務局がリードする形で始まりました。

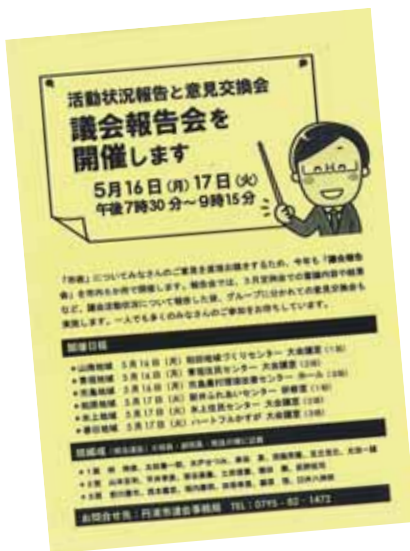
議会として必要性を感じてのことではなかったものの、市制を敷く自治体の議会に会派はあるものという認識から、まずは考えを同じにする「仲間」探しから始まりました。

各会派では調査研究したものを政策討論会に提

出し、それらを取りまとめ、提言しています。

議会、会派からの政策提案を生み出す場が政策討論会です。これは地方創生総合戦略を検討するにあたり、議会からも案を求められたことをきっかけに設置されました。

議会からの提言は「丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略」に反映されているほか、政策討論会で検討され、実際に制定された条例もあります。会派の調査研究活動を支える政務活動費は、後払い精算方式を導入しています。年度初めに一定金額が給付されるのでな



▲議会報告会は市民との意見交換会の様相が強くなっている

く、会派で行った政務活動の中で公費負担が認められるものに限り後から給付されます。

議会報告会は、年1回以上開催することにしており、当初は議会からの一方的な報告の場でしたが、現在ではテーマを用意して議会と市民が語り合う意見交換の場になっています。

議会としてはそこで得た意見を元に一般質問や政策討論会で政策提言に結びつけるようにしています。

まとめ

丹波市の議会改革は、提言や提案という形で確実に実を結んできているように思われます。報告会も意見交換会に変更し、市民の声が反映しやすくなっています。

本市も実のある改革を進めて参ります。

鋭く切り込む

一般質問21人登壇

田口 市内のいたるところに「自治会に加入しましょう」という横断幕や



田口 幸一

入札関係

正当性・透明性・公平性は

市長／直接携わることはない



湯川 逸郎

自治会加入

加入の動きと政策との結びつき

市長／推進する取組みを展開

のぼり旗が掲げられている。加入の動きはどうなっ

ているか。また、市の政策とどのように結びついているのか。

市長 6月を「自治会加入推進月間」と定め、市内の主要な施設や自治会集会所、校区コミュニティ協議会事務所などに掲げている。

湯川 大文字池からの排水路は狭く、宅地化が進

快適で暮らしやすいまちづくり
市長／雨水排水対策計画で検討

特に入札については、正当性・透明性・公平性を確保するために、私自身が直接携わることはない。

市長 本市の入札・契約関係については、地方自治法、同法施行令及び市契約規則など、法令に基づき執行している。

市長 本年度から幹線水路を含めた道路・排水整備を行う。

湯川 入札関係において、正当性・透明性・公平性が行政には求められている。市長としてどのようにとらえて、携わっているのか問う。

また、始良高等技術専門学校前の用排水路に蓋を設置して、通学路の確保が急務であるが、市長の見解を求める。

また、始良高等技術専門学校沿いの幹線水路のボックス化についても、雨水排水対策計画を基本として、検討していく。

その他の質問
○子ども子育て支援パスポート



▲子ども達の安全対策を

市政の課題に



和田 里志

太陽光発電所

周辺の雨水・排水対策

市長／実態調査と現状把握

併せて、自治会・校区コミュニティ協議会、そして行政が一体となり自治会加入を推進する取り組みを展開している。

自治会活動は、市政における根幹をなすものであり、自治会活動を通して地域に住み、地域を知

る人たちにより、自助・共助・公助を基本として市民との協働のまちづくりに取り組んでいく必要性を総合計画の中でも謳っている。

- その他の質問
- 二次救急医療
 - 国民健康保険税の3方式
 - 重富水道施設の見通し
 - 市道仮屋園線



▲自治会に加入しましょう

和田 三拾町の耕作放棄地に大規模な太陽光発電所が計画されている。

周辺自治会を含めた総合的な雨水・排水対策について問う。

市長 当該地区の排水状況が十分でない地域であることは、自治会からの事前相談などで承知している。

今年度から実施する「始良市雨水排水対策計画策定業務委託」において、まずは、実態調査及び現状把握に取り組んでいく。

のつながりを強化し、潜在的な能力を発揮し、創意工夫をこらした活動が各地で展開され始めている。

このような活動に更なる支援を求める。

市長 現在、自治会・校区コミュニティ協議会に

は、それぞれの要綱に基づき補助金を交付している。

小地域福祉活動に対する支援策のあり方等は、活動の効果等も踏まえながら、補助金のあり方も含め検討していく。

小地域福祉活動への支援
市長／効果等も踏まえ検討

和田 高齢者の孤立を防止する目的で、住民同士



▲雨水排水対策調査検討区域に追加されることになった地域（黄色の部分）

地域活性化

別府川に鯉のぼりを

市長／様々な支援をする



森 弘道

森 米山薬師を望む周辺一帯の景観を生かし、別府川に鯉のぼりを泳がせて、青少年育成や観光行政など地域活性化として支援を考えられないか。
市長 別府川の上空の青空を泳ぐ鯉のぼりに子ども達の健やかな成長を願い、地域の風物詩・伝統行事



▲帖佐橋下流から米山薬師を望む景観

として定着させることで、地域の活性化に期待する。地域活性化は、市の重要な施策の一つでもあり、活動について様々な支援を考えていく。

文化財等の整備

教育長／解説板等を設置

森 白薩摩焼の源流古帖佐焼宇都窯跡と、ひざつきくりげの馬の墓など文化財の整備を図り、青少年の教訓・学びの場と観光に活かせないか。

教育長 宇都窯跡は県内最古の窯跡で、県史跡に指定されており、30年度

に県の補助事業を導入して保存処理を計画している。

義弘公の馬の墓については、宇都窯跡と共に今年度、解説板や標柱を設置する。

青少年の育成は、史跡めぐり等で活用を図る。

その他の質問

○県道米山交差点の渋滞

解消

○歩道の安全確保と消えた白線

本村 川内原発の特別点検により熊本地震の影響はないということがどのように証明されたか。
市長 定期点検とは別に各機器が地震により揺れたことを念頭におき「原子炉を止める」「放射性物質を冷やす」「放射性物質を閉じ込める」といった安全確保の基本に基づき、専任点検チームによる各機器や支持装置などが地震による影響を受けていないかの視点で、総合設備点検等を行った。
いずれの点検項目においても熊本地震による異常は確認されなかった結果となっている。



▲現在稼働中の川内原発

原子力防災

特別点検の結果は

市長／総合設備点検の実施



本村 良治

この結果は昨年設置した県の専門委員会及び原子力規制庁の委員会でも審議継続中である。

介護労働者の平均賃金は市長／公表されていない

本村 始良市内の介護労働者の平均賃金は、どうなっているか。

市長 公表されておらず把握していないが、平成26年度の厚生労働省の統計によると、平均月給は21万8900円となっている。



▲永原校区・子育て支援住宅予定地が決まる

堂森 高齢化率の高い校区を特区扱いし、三世帯同居や子ども沢山家族支援制度を実施し、中山間校区の少子化対策を図れ。



堂森 忠夫

中山間校区

少子化対策

市長／定住促進住宅を順次建設

市長 子育て世代を優先した定住促進住宅を今回、北山校区に4戸、永原校区に10から12戸を検討中であり、各校区にも順次建設促進を図っていく。更なる支援が必要となった場合、三世帯同居や子ども沢山家族支援制度の検討を考えている。

3地区の庁舎建設

市長／合併推進債活用し整備

堂森 3地区の庁舎建設規模と施工年度を示せ。本庁舎建設は、規模から市外大手企業と地元共同企業体等の施工が、技術的には安全で安心するのではないかな。

市長 複合新庁舎建設の基本構想や基本計画等は、学識経験者や公共的団体等の代表者で組織する検討委員会に諮問した。合併推進債の活用期限の平成36年度までに整備を完了する。

基本計画の条件等を整理して施工業者の選定方法等は検討する。

その他の質問 ○在宅医療の体制

家庭教育

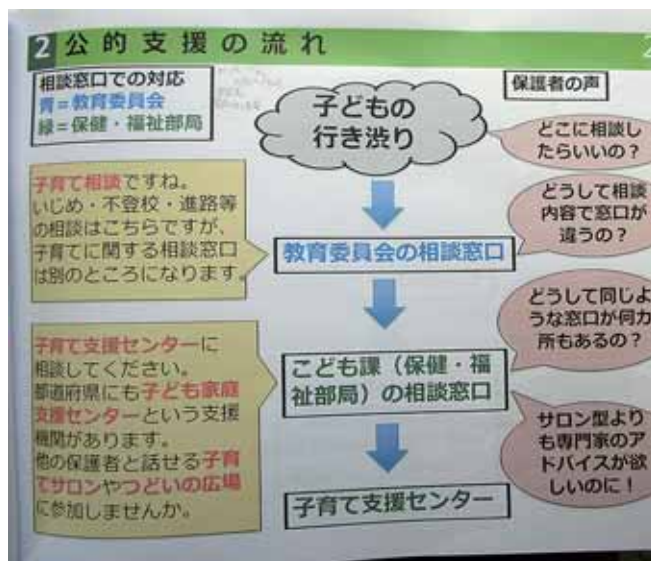
支援窓口の統一

市長／庁舎建設を含めて検討



吉村 賢一

吉村 子育て支援課、子ども政策課、健康増進課、教育委員会など相談窓口が多いが統一できないか。
市長 子ども課（仮称）といったことも庁舎建設を含めて検討している。
吉村 学校・家庭・地域連携協力体制による「家庭教育支援チーム」の動



▲理想的な公的支援の流れ

きはどうか。
教育長 平成25年度から子育て基本条例に基づき家庭教育サポーターを配置し、情報提供や相談対応、交流の場の提供などの充実に努めている。

公共交通のあり方

市長／共通利用券に拡充を協議

吉村 公共交通の在り方を考える上で、温泉券をバス券やタクシーの助成券として併用はできないか。
市長 温泉保養券や、は

り・きゆう施券を体育施設やバス、タクシーでも利用できる共通利用券に拡充できないか協議をしている。
吉村 各校区と5駅や病院・公共施設とのアクセスは十分か。
市長 今後、地域ごとの需要や乗り継ぎ環境、病院や公共施設等へのアクセス等に関する聴き取りを行い、適した地域公共ネットワークの整備に努める。



▲急げ！拡幅整備（上：山野踏切 下：地蔵橋踏切）

踏切改善

地蔵橋・山野踏切

市長／ＪＲと協議中



森川 和美

森川 地蔵橋踏切と山野踏切については、拡幅・整備の請願が全会一致で採択されている。

その後の進捗状況と、事業費の試算などを問う。
市長 地蔵橋踏切については、県公安委員会との協議や、ＪＲ九州との計画協議を終え、今後設計実施協議についての調整を行う状況である。
なお、測量設計、地質調査業務委託など２千万円程度を見込んでいる。

山野踏切については、平面交差で実施できるように協議中である。

有休付与の日数等は市長／20日の休暇が付与

森川 職員の働き方について

- ①年間の有休付与日数と平均取得日数
- ②1人当たりの時間外勤務の平均と最大時間
- ③平成26年度から28年度の定年退職者、普通退職者、及び勸奨退職者の人数を示せ。

市長

- ①職員には、毎年20日の年次有給休暇が付与され、1人当たり取得日数は昨年度平均8・9日である。
- ②1人当たりのひと月の時間外勤務時間は、平均6時間であり、最多時間107時間である。
- ③定年退職者は51人、普通退職者は7人、勸奨退職者は10人であった。

その他の質問
○県の自転車条例

東馬場 「かごしま県民のための自転車の安全で適正な利用に関する条例」が制定された。
損害賠償保険加入と、中学校生以下のヘルメット着用を保護者に義務付けることが柱である。
条例の趣旨の周知方法を問う



東馬場 弘

自転車条例

趣旨の周知

市長／広く周知する



▲義務化される保険加入とヘルメット

北朝鮮ミサイル発射への対応
市長／臨機応変に対処

東馬場 県は北朝鮮によるミサイル発射に備え、避難訓練を実施する方針を示した。

本市の対応を問う。

市長 弾道ミサイルの発射等で、国から警戒通知等が発出されていない段階である。

弾道ミサイルが発射され、本市に影響があると想定される場合は、危機対策本部体制へ移行し、臨機応変に対処する。

道路整備

岩剣神社入口と本通り

市長／整備を検討していく



萩原 哲郎

萩原 岩剣神社市道入口は、進入路が鋭角で切りかえしが必要で危ない。また、本通りも幅員が狭く離合が困難である。道路整備について問う。

市長 市道、岩剣神社本通線の県道交差点は、鋭角で狭隘な幅員である。岩剣川は上流から県道



▲鋭角で切りかえしが必要で危ない交差点

交差点まで、砂防指定地であることから、県公安委員会等との協議が必要。地域の状況なども確認しながら、整備について検討していく。

烏帽子岳登山道整備

市長／今後、協議する

萩原 烏帽子岳は、北山校区コミュニティ協議会と協議し、誰でも登れるように登山道と案内板の整備等を検討すべきではないか。

市長 頂上で味わう開放感や見渡す風景から、観

光地としてふさわしいと考える。

烏帽子岳が個人所有の山林であることや、安全や自然環境の管理についても引き続き検証していく必要がある。

登山道整備や案内板設置に向けて、地域活性化のため、所有者と北山校区コミュニティ協議会と今後協議していく。

その他の質問

○建昌城跡地の今後の使途・整備

○サポーランドパーク始良

市営住宅

共益費の未納問題

市長／団地自治会と連携



法元 隆男

法元 市営住宅の総戸数、入居率、家賃の収納率はを示せ。

市長 総戸数は1436戸、入居率は89%、徴収率は97%である。

法元 共益費の未納が問題になっているが、市の対応を問う。

市長 一部の団地で、共益費の未納により管理運営に困っているところがあることは承知している。市としては、この問題で直接入居者と関わることは無いが、団地自治会と連携して良好な関係を築いていく。

子育てなら「あいら」市長／待機児童の解消に努める

法元 総合戦略効果検証の報告によると、出生率に比べて待機児童数の達成率が28年度はDランク（70～80%）であるが、どう評価するか。

○その他の質問
○自主防災組織

市長 28年度は急激な保育需要があり、待機児童の解消には至っていないので、定員の見直しなどを進め、待機児童の解消に努める。

法元 父親の育休取得の現状は。

市長 合併後、本市役所では2人。国分職安管内事業所では、昨年度が11人で全体の2・6%である。



▲適正な管理運営が望まれる市営住宅

観光政策

れんげの里プロジェクトの支援を

市長／今後も支援していきたい



小山田 邦弘

小山田 この春、実施された堂山地区の「れんげの里プロジェクト」をこれから市として支援していく考えはないか。

市長 このイベントは、市観光協会の共催イベントとして位置付けられ、一部助成も行っている。今後、これらの地域発



▲地域づくりのモデルにもなる「れんげの里プロジェクト」

の行事も市のイベントとして位置付け、宣伝で集客を支援するとともに、観光による稼ぐ力の醸成も支援していきたい。

小山田 「あいらフットパス」の蒲生田園コースが道路陥没で変更された。個人の敷地や小径（こみち）を借りるというフットパスの理念からすれば、放置せず補修すべきではないか。

市長 コースが変更されたことは承知していなかった。既に変更されたということは周知もされている

その他の質問 ○立地適正化計画

昭和43年に開校した堂山小学校を中心とした農村集落の活性化を進めてきた「れんげの里プロジェクト」は、1年間の集大成としてこの春「れんげまつり」を開催。市内外から多くの観光客があり、交流が図られた。

グラウンド整備

市民利用を図れ

市長／要望があれば協議して検討



峯下 洋

峯下 現在、市が書類等の保管場所として元JAの研修センターの建物を借りている。そのグラウンドを整備して、市民の利用を図れないか。

市長 これまでに、所有者である県農業協同組合中央会と協議を行った経緯はない。今後、地域からの要望があれば、その協議について検討していきたいと考えている。

松原なぎさ校区コミュニティ
市長／積極的な活動支援

峯下 松原なぎさ校区コミュニティの地域の輪がが市全体に広がることを期待するが、どのように支援していくか。

市長 「なぎさ未来塾」や「わいわい食堂」など、地域と一体になった活動

や、県の地域貢献活動サポート事業の一環として「松原地域情報マップ」の作成にも取り組まれている。

このようなことは先進的な取り組みであり、市としては今後も積極的な活動支援と「市民との協働のまちづくり」に取り組んでいく。

その他の質問

○コミュニティFM
○可燃ごみの減量



▲グラウンドゴルフ場として利用して欲しい

北山小学校

存続に向けた取り組み

教育長／定住促進住宅4戸建設



新福 愛子

新福 危機的状況といわれている北山小学校の存続に向けた、その後の取り組みを問う。

教育長 児童数は現在30人であり、特認生の増加で昨年度より6人増えた。地元地域と協議しており、その中の一つとして小学生のいる子育て世帯を対象に、定住促進住宅4戸を旧成美小学校跡地に建設する補正予算を本定例会に計上している。

新福 地産地消型の学校



▲旧成美小学校（大正8年当時）

給食や移住した家庭の児童の給食費等を補助する支援策も有効と考えるがどうか。

教育長 まずは住宅政策を実現することが移住を進めると考える。

認知症対策

市長／認知症初期集中支援チームを準備中

新福 認知症対策について問う。

市長 ①早期発見のために初期集中支援チームを準備中。

②サポーター養成講座は小・中学生の一部で進めており、今後も指導する。

③介護家族交流会を今年度はイベントの中で計画。

④免許証返納を促す施策や徘徊高齢者など位置検索システムについては今後、総合的な調査・研究を進める。

その他の質問

○庁舎・学校施設等における受動喫煙防止対策

保護増殖事業

教育長／緊急の措置が求められている

大クス



湯元 秀誠

湯元 近年、「蒲生の大クスの樹勢が衰えて来たのでは」と聞く。

今年度、蒲生のクス保護増殖事業に1098万円が予算化された。

どのような樹勢診断の結果に基づいて実施されるのか。

教育長 昨年、樹形や樹



▲寄生植物に覆われている大クスは大丈夫か

幹及び周辺土壌環境の詳細調査を県森林組合連合会へ委託した。

その結果は、樹木の衰退度が5段階の4番目の「著しく不良」と判定され、緊急の保護増殖措置が求められている。

湯元 大クスは長期的、継続性をもつての保護が大事である。

日常的に市民目線で観察していただくボランティア団体を設置し、また市で専門職のスペシャリストの育成は考えないか。

教育長 日常的に異常がある時は八幡神社から通報していただく。

ボランティア団体の設置と、特別な専門職の育成は考えていない。



▲夏休みで利用者の多い市立図書館

公共施設配置

図書館管理

市長／当分の間は直営で



神村 次郎

神村 始良市は、どのような図書館を目指しているのか。

市長 すべての市民に、公平で充実した図書館サービスの提供を目指している。

当分の間は、直営での管理運営を継続し、併せて他市町の指定管理者制度についても調査・研究し、施設の管理運営についても検討を進めていきたいと考えている。

教育条件整備

教育長／空調設備の設置

神村 小・中学校の空調設備の設置計画はどうなっているか。

教育長 補助率の高い多量降灰防除地域の指定地域として財政支援を受けられる方策の要望を行ってきた。

具体的な導入方法については、直接工事をする方法やリース方式、さらにはPFI方式等による導入方についても、定例の教育委員会でも委員間で意見交換を行っている。

その他の質問

○FMラジオ放送を活用した災害情報

外部人材での対応

教育長／補完的に活用

部活動指導員



渡邊 理慧

渡邊 早朝の練習や土日の試合・発表会により、部活動の指導が教員の長時間労働の要因にもなっている。

文科省は4月から外部人材でも部活動の指導ができる制度を始めている。本市ではどのように対応するか。



▲暑い中で練習ががんばってます！

教育長 部活動の指導者としては、生徒の日頃の能力や興味・関心などをよく知っている学校の教職員が指導することが望ましい。

利な補助事業を導入して取り組みたいという答弁であった。

現在の状況と見通しについて問う。

指導員については、校内での人材が得にくい競技などに、技術指導のみ補完的に活用していくことが妥当であると考えている。

小・中学校の教室にエアコン設置を

教育長／国の補助事業を要請

渡邊 小・中学校の教室へのエアコン設置については、これまでも国の有

その他の質問

○LGBT（性的マイノリティ）の取組み

認知症対策

成年後見制度の利用

市長／利用促進基本計画を策定



竹下 日出志

竹下 成年後見制度は、認知症や知的障がい、精神障がいなどで物事を判断できない成人の財産管理を支援する制度である。本市では、この制度の利用をどう考えるか。

市長 身寄りがなく、親族からの協力が得られない方に、市長による申立



▲大迫淳英氏の母校 西始良小で本物の芸術に感謝

てが昨年度は4件あった。今後、国の研修会への参加や県と連携し、成年後見制度利用促進基本計画策定に向けて研究する。

文化芸術で豊かな感性を育む
教育長／訪問演奏会を開催

竹下 子どもの豊かな感性を育むために、文化芸術による子どもの育成事業がある。

本市では、質の高い文化芸術の鑑賞をどのように考えているか。

教育長 小・中学校では、

その他の質問
○児童クラブの拡充

青少年劇場や芸術鑑賞事業を実施、平成26年度から加音オーケストラによる、小学校訪問演奏会を開催している。

今後、始良ふるさと大使・大迫淳英氏による演奏の機会を望んでいる。

たつもんじ

龍門司坂

トイレ設置

市長／新しい場所に設置する



堀 広子

堀 龍門司坂にはトイレがないため、周辺の環境が不衛生になっている。

龍門（りゅうもん）滝のトイレを利用するが龍門司坂からは高齢者にとっては遠く、階段や電気設備も壊れ安全面からも良くない。

龍門司坂駐車場に、トイレを設置できないか。

市長 龍門滝と龍門司坂を一体化した観光地として捉え、既存の龍門滝のトイレの老朽化、利便性や衛生・安全面から別な場所にトイレを整備する。

国保の構造的改善
市長／運営委員会で協議

堀 国保会計への法定外繰入を中止すると、国保税が大幅な引き上げになるが、どのように検討しているか。

市長 国費の投入で、一般的に法定外繰入の中止が図られるとされている。堀 国保の運営主体が県に移ることで「国保税が高い、所得水準が低い」などの構造的改善ができると思うか。

市長 県単位化の流れの中で、より良い方策を運営委員会で協議し、答えを出していけたらと思う。



▲龍門司坂入り口にトイレ設置を

差別解消法

取組みと今後の計画

市長／対応要領を策定



犬伏 浩幸

犬伏 障害者差別解消法施行に伴うこれまでの取組みと今後の計画を示せて、「始良市における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」を定めた。
また、「障がいのある人への対応のしおり」を

作成し、職員に対し昨年10月と12月に説明会を開催した。

市としては、市地域自立支援協議会において、相談及び当該相談に係る事例を踏まえ障がいを理由とする差別を解消するための取組みを協議しながら、障がいの者の自立と社会参加の支援に努めていく。

交通施策

市長／不必要な運行をなくす事が可能

犬伏 デマンド交通等導入により期待される効果と課題を示せ。

市長 必要な時だけ予約により運行することで、乗客のいない車両の運行を無くすことが可能になる。

そのほか自家用有償運送などもあるが、いずれの方法も関係する全ての関係者の合意が図られることが必要となる。



▲共に生きる

温泉施設

旧サンピアあいら 一部再開

市長／連携可能と考える



谷口 義文

谷口 待ちに待った旧サンピアあいらが、11月に温泉の営業をオープンすると聞く。

玉昌会と市との話し合いはあったのか。

市長 今回、玉昌会のグループ企業の(株)ジョイが旧サンピアあいらの一階部分を改装し、利用者の健康増進をサポートする事業を展開したい旨の説明は受けている。

今後、話し合いを持ち市の事業メニューと連携することも可能ではないかと考える。

市長選の出馬

市長／3期目を目指し、さらに精進

谷口 来年4月の選挙では、3期目を目指してほしいとの声が多い。

継続は力なりというが、出馬をどう考えるか。

市長 これまで培ってきた行政手腕に対する実績も必要であり、さらに強いリーダーシップも求められる。
市民のみなさまの深いご理解をいただくためにも、来る4月の始良市市長選挙においては3期目を目指して、さらに精進したいと思う。

その他の質問

- 商工会館跡地
- 物産館
- 街路灯



▲待望の温泉の再開（旧サンピアあいら）

「複合新庁舎建設等 調査特別委員会」が始動



▲栃木県下野市の新庁舎

本議会は、6月定例会において、「複合新庁舎建設等調査特別委員会」設置の決議を全会一致で可決しました。

審議内容や結果については、「議会だより」をはじめ「議会と語る会」等の機会をとらえ報告してまいります。

提言を含め取組む

始良市も、いよいよ新庁舎建設に向け動き始めました。

安全安心や財政面での検討、各々の地域課題・考え方・合併推進債の利用等々検討事項は多岐にわたります。

議会としても市の計画に対し、本来のチェック機能を十分発揮するために特別委員会を設置いたしました。

市民の利便性と安全安心で快適な建設計画の確立や市民の負託に応える

ことを目的としています。

今後、独自の提言を含め、複合新庁舎が市民にとって最善の施設となるようしっかりと取り組んでまいります。

○委員長 法元 隆男
○副委員長 犬伏 浩幸

議論になった事項

○本庁方式・分庁方式について

○市民説明会とアンケートの方法について

○財政について

○特別委員会の在り方について

複合新庁舎とは

生活・防災・行政の地域拠点施設として、行政機能以外にもさまざまな機能を併せ持つ（例えば、市民の皆さんが、利用できる憩いの交流空間など……）新たな庁舎



▲ワンストップサービスカウンター



▲熊本地震により使用不能となった宇土市役所

語る会

市政に反映



▲蒲生校区・米丸地区いきいき交流センター（参加者43人）



▲蒲生地区の水道管が併設されている山元橋

始良市議会では、開かれた議会をめざして、議会の活動状況をお知らせし、皆さま方からのご意見を市政に反映させるため、「議会と語る会」を実施しています。

第9回目の「議会と語る会」は、4月29日(土)蒲生校区・米丸地区いきいき交流センター、重富校区・原方自治公民館、加治木校区・春日集会所で実施し、71人の参加がありました。

各委員会で作成した資料について説明の後、市政全般にわたって意見交換がなされ、生活に身近な道路や橋の整備、自治会加入などの意見、要望をいただきました。

主な質問や意見

蒲生校区 米丸地区いきいき交流 センター

質問 大雨の時、山元橋の橋脚に物がはさまりせき止められる状況である。

また、蒲生地区の水道管が併設されており、橋を整備してほしい。

回答 昨年県道が冠水して、県も状況を把握しています。

寄洲により冠水するため、今後も寄洲除去の要望を行います。

質問 買い物・病院利用のため、北山地区から木津志方面の巡回バス路線を、北山から木津志・柊野地区を通る路線も検討してほしい。

回答 路線バスは、現在市の公共交通会議で検討しています。

質問 米丸地域は、加治木・蒲生・川内線に比べると往来が少ない。

蒲生から漆・木津志方面は、夜は真っ暗である

ので防犯灯を検討して欲しい。

回答 自治会の防犯灯と通学路防犯灯の2種類あります。自治会内で対応できるものは、自治会で設置してもらいます。境界が曖昧なものは、市が現場確認し設置します。

質問 農政座談会はなくったのか。この機会に農業関係の相談ができていたが、宣伝もしてほしい。

回答 農政座談会は、昨年、開催場所が減りましたが、年に1回実施しています。閲覧板で案内します。

重富校区 原方自治公民館

質問 重富駅から吉田方面に通じるところを直通で行ける案があったが、どうなったか。

回答 街路計画路線ですが、実施については今のところ予定がありません。

質問 自治会から脱会する人が多い。行政は積極



第9回

議会と

あなたの声を

▲加治木校区・春日集会所（参加者14人）

的に働きかけができないのか。

回答 転入時に市民課よりチラシを配布し加入を呼びかけています。

また、「自治会運営推進会議」においてチラシのぼり旗を作成し加入を呼びかけています。

質問 警察学校から、県道麓・重富停車場線にまじわる所に、信号機を要望しているが設置できないか。

回答 要望箇所については、警察に確認をされるようお願いします。



▲重富校区・原方自治会公民館（参加者14人）

**加治木校区
春日集会所**

質問 自治会の未加入者が増えているが、対策はないか。

回答 加治木地区は、加入率が低いようです。始良市地区では、未加入者対策として12の準会員制を採用しています。

質問 市道の中央線ラインが消えている所が多く、整備できないか。

回答 市道の区画線は、道路パトロールや通報で整備の必要性を感じてい

ます。警察と協議し、整備の推進に努めます。

質問 温泉保養券を利用しない人には、タクシー券に変えて利用範囲を拡げて欲しい。

回答 温泉券、はり・きゅう券、タクシー券など利用範囲の拡大を検討しています。

アンケートから

○意見交換の時間が短すぎる。議会報告書は書面等で随時見ることができる。

○生ゴミの出し方が、旧始良町と加治木町が違う。ゴミの出し方に責任を持つため名前を書くほうが良い。

○大迫団地は、子どもが多いわりに公園の遊具が少なく子どもが遊ぶ場所がない。遊具を増やして欲しい。

○米丸のゴルフ場の入り口付近は通行車両が多く危険である。通学路

に中央線を引いて欲しい。夜も街灯がなく危険である。

○朽山池の「土砂、寄り洲」撤去はどうなっているのか。4年前に現地を見てもらったが、以降連絡がない。

○なぎさ公園の遊具をどれだけの子どもが利用しているか、実態調査を望む。

○政務活動費がゼロというのは、議員の方々の向上心を阻害しているのでは。

紙面に掲載した質問や提言は、一部を抜粋したものです。地域の課題を含め、多くの意見をいただきました。あなたの声を、執行部にしっかりとつなぎ、予算審査や市政運営に反映していきます。

第9回 クイズ



クイズの答え き づ し

- 中尾 裕子 (平 松)
- 長谷川 寿 (東餅田)
- 原田由美子 (松原町)
- 東村さなえ (東餅田)
- 林 陽子 (池 島)

クイズに10人の応募があり、抽選の結果、次の5人の方に図書券を贈りました。
ご当選おめでとうございました。(敬称略)

正解者5人に
図書カード

第9回クイズ
応募者より

昨年11月に双子を里帰り出産して、1歳になるまで始良市でお世話になる予定の者です。神奈川県に住んでいたのですが、始良市は子育てしやすい町だなあと感じています。子どもを連れていけると「何か月?」「双子?」と声をかけられます。地域の方に声をかけられると安心します。



傍聴席から

- 傍聴席の後の壁に1つスピーカーを取り付けてもらえれば、もう少し良く質疑者の声が良く聞こえるのではないのでしょうか。今のままでは、声が割れて聞き取りにくいです。(70代男性)
- 地域住民が請願している項目に対して十分な検討をする気概が全く感じられない。残念の極みです。(70代男性)
- 初めて来ました。インターネットでも議会の発言内容はわかりますが、議会に来て分かる雰囲気を感じました。市民がもっと身近な話題に参加するには、この議会をもっと多く傍聴することが大事と再認識しました。(60代男性)
- 議場横のモニターの画面を正面に設置してほしい。議員さんの顔を正面で見れたらと思いました。再検討していただければ。(80代男性)
- 始良市議会の傍聴は初めてでした。受付の方も親切で気持ちよく緊張せずに傍聴することができました。お茶まで用意しておられ、傍聴者への心配りが感じられました。ぜひ、もっとたくさんの市民の方々に気軽に傍聴に来ていただきたいと思います。また、「市議会だより」もいつも楽しみです。プレゼントもあるのは他市町村に比べて、^{ナウ}nowいのではないのでしょうか。親しみが感じられました。(40代男性)
- 傍聴者が少ないのに驚きました。こんなものですか。今日は、交通施策についての質疑に興味があったので傍聴に来ました。今日は、具体的な話は何もなかったが、今後もこの件については関心があるのでまた議場に来てみたいと考えています。(80代男性)

編集後記

この夏も急な落雷など天候不順が続きます。亡くなった祖母と雷について話した思い出があります。
私が「昨日の雷は凄かったね」というと、祖母は「雷様とお米さんは仲がいいから豊作じゃが」と答えました。
「なんで」とたずねると、「稲妻つていうがね」と教えてくれました。祖母はそんな文学少女でもありました。今年も豊作でありますように。

広報班 小山田邦弘

編集・発行責任者
議長 湯之原一郎

広報・傍聴特別委員会
(広報班)

委員長 峯下 洋
副委員長 渡邊 理恵
委員 犬伏 浩幸
和田 里志
湯川 逸郎
新福 愛子
神村 次郎
森川 和美
東馬場 弘
竹下日出志
小山田邦弘
堂森 忠夫